



報もあればますますいいと感じました。

7番目の発表は、理学療法室長の中川圭子さんの理学療法室における患者満足度調査については、いろいろクレームが来てもおかしくないところを謙虚に意見を集めた勇気がすごいと思います。もちろん他部署でも満足度調査はありますし、どの部署でも勇気がいることと思います。厳しい言葉でも受け止めて、今後の向上にいかそうとする姿勢は是非継続してもらいたいと思いました。

8番目の発表は、薬剤部薬剤師の速瀬紀子さんの院外処方の目的と意義という内容でした。この時期に非常にタイミングのあった内容でした。薬剤部のみなさんは以前から非常に熱心に院内の活動をなさって、めざましい発展を築き上げました。今後のさらなる向上のために外来処方をほとんど院外処方にするのは時代にあった方法だと思いました。

9番目の発表は、速瀬啓純先生の遺伝の背景にあるものというタイトルで、前半は多少難しい遺伝子と免疫機構といった内容でした。医学研究を経験した者にとっては魅力的な話題でしたので、私は興味深く聴講できましたが、みなさんがどれだけご理解いただけたかが心配でした。それでも後半は宗教哲学を中心とした内容で非常にわかりやすくみなさんも楽しめたのではないのでしょうか。

今後もバラエティーに富んだ発表を期待しております。みなさんお疲れ様でした。そして盛り上げて下さってありがとうございました。

## 開院49周年記念祝賀会

H30.4.18(水)  
グレース浜すし

事務部長心得 中川 博文

4月18日(水)午後6時より、グレース浜すしにて、開院49周年記念祝賀会が開催され、本年は約130名の職員が出席しました。これまでの祝賀会同様、午後の院内発表会に続いての開催ではありましたが、私にとっては「事務部長心得」として臨む初めての祝賀会となり、昨年までは、院内発表会を終えた後、ほっと一息つく場だったのですが、今年は祝賀会の司会を仰せつかり、最初から最後まで気の抜けない祝賀会となりました。

私の緊張をよそに、祝賀会は昨年までと同様に、明るく、楽しく、滞りなく進み、3病棟の出し物の甲斐もあって、職員の皆さんに楽しんで頂くことが出来ました。

来年は、心得が取れ、「事務部長」として臨む初めての祝賀会にできる様、日々の業務に励んでいきたいと思っています。



## 第7回 看護部チーム発表会

H30.3.6(火)

南国病院本館 多目的ホール

### 「看護部チーム会の振り返り」

教育担当師長 医療安全管理者 大黒 千明

病院機能評価受審をきっかけに、平成22年4月に看護部チーム会(教育・感染・医療安全・褥瘡・記録・洗浄機器)を立ち上げ、翌年には嚥下摂食チームが立ち上がり7チームの活動がスタートしました。

あれから7年の月日が経ち、例年、年度末に各チームの「振り返り」を行い発表しています。

各チーム年度目標を立て、取組み、次年度の課題へとサイクルを回し始めています。どのチームも現場の意見を重視し、より良い看護、介護に繋げる努力をしています。また、他職種からの協力者も年々増え、看護部だけではなく他職種で取り組んでいるチームもあります。今後は、各チームが多職種と連携し院内チームに発展できればと思います。



### 記録チーム

3病棟看護主任 浜場 まり

#### ①SOAPでの記録の充実を図る

SOAPでの記録は、初期に比べると徐々に浸透してきた。検温時以外の記録がない事があり、他部署のスタッフと情報共有できるように、正確な記録を残していくように声かけを行った。

#### ②認知症ケア加算の導入に伴う看護計画の追加

看護計画に認知症看護計画を追加し、評価、見直しを行った。

#### ③ADL評価表、転倒転落アセスメント、褥瘡リスクアセスメント

のチェック、看護計画の評価、見直し、3ヶ月毎の監査の実施それぞれの期限内に行えてないスタッフに声かけをしてきた。今後、看護記録の充実が図れるように活動の継続をしていく。



### 医療安全チーム

2病棟准看護師 濱渦 佑也

電子カルテの「インシデントレポートの入力がしにくい」という意見があったため、以前使用していた「インシデント報告書」を見直し

改善し、平成30年度には使用できるように準備しています。

「ネームバンド」については、現在のネームバンドは傷になったり、引きちぎられたりという問題がありネームバンド自体の変更を検討しましたが、電子カルテとの連動、患者名の印刷などで変更できないことが分かり、継続することになりました。

昨年12月に開催された認定病院患者安全推進協議会(日本医療機能評価機構)主催の「転倒・転落セミナー」へ薬剤部・リハビリ部・看護部から3名の方が参加され「転倒転落予防」について意識が高まり、医療安全チーム会で取り組むことになりました。リハビリ部から参加協力もあり、来年度も継続していきたいと思っています。



### 感染対策チーム

2病棟看護師 浅野 一菜

手指消毒、標準予防対策の周知徹底を一年通して行ってきました。普段より感染予防対策をすることによって、MRSA・ESBLなどの院内感染の拡大をふせいだり、インフルエンザ流行期にはさらに手指消毒・標準予防対策の強化をすることによって、院内でのパンデミックを防げていたと思います。

その他の活動としては、院内外の感染対策に関する研修会や勉強会へ積極的に参加してきました。学んできた中で日常看護をしていく上で取り入れられるものは取り入れて活用してきました。例を挙げると、工作中的手指消毒のタイミングや、標準予防具の付け外しの方法などです。

今後も感染対策チームでは院内感染の拡大を防ぐため、手指消毒、標準予防対策の周知徹底を行っていき、チーム内の知識も高めていけるように活動していきたいと思っています。

今後も感染対策チームでは院内感染の拡大を防ぐため、手指消毒、標準予防対策の周知徹底を行っていき、チーム内の知識も高めていけるように活動していきたいと思っています。